令和4年度 第3回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

	A 1- 1 F 10 F 0 F (±) 10 F 00 () 00 F
日時	令和 4 年 10 月 6 日 (木) 18 時 30 分~20 時
場所	桜島支所
出席者	地域懇話会委員、さくらじま地域おこし協力隊、地域活性化アドバイザー、事務局
	○事務局説明
	①地域活性化計画(案)について
会 次 第	②他地域の取組みについて
	○協議事項
	①地域活性化計画(案)
	【各委員等からの意見】
	1. 地域活性化計画(案)
	〇 デジタルデバイド解消の取組みであるスマホ教室は、高齢者に操作を教えるのでな
	く、目的の操作を代理で行う形はどうか。それが仕事にもなっていくのではないか。
	○ 地域のデジタルサポーターをデジタルに詳しい中学生に担ってもらえれば高齢者
	との交流もできる。
	○ 地域の高齢者の中にはインターネットが何か分からない人もいる。そういう方々に
	は集団での講座は難しいが個別ではマンパワーが不足する。サポーターという形です
	るなら、サポーターの意識や向き合い方が大事。
	○ スマホを買ったはいいが使い方が分からないという高齢者も多い。初歩的なところ
	ら少しずつでも教えていければよい。
	○ 病院に入院中にスマホで家族と交流ができた経験から、スマホの便利さも伝えてい
	けばよい。
	○ シャインマスカットなど桜島小みかん以外の農産物について、農家が販売先に苦労
	しないような形で新たなブランド化を検討することも大事。
	○ 飲食店もだが宿泊をしている会社などと組織の繋がりを作ることも進められれば
	よい。
	○ 事業者がどのようなニーズを持っているのかを汲み取り、連携を図りながらお互い
	に何を提供できるか、何ができるのかを整理することが大事。
主な意見等	○ 取組みに対する資金は確保できるか。資金面で進まないということがないよう計画
	をしっかり立てる必要がある。
	○ 地域の飲食店等の連携を図ることも大事だが、そこに行く交通手段も検討すべき。
	〇 Eバイクを使った取組みはよいと思うが、地域住民が住みにくくならないように配
	虚しながら、交通対策はステップを踏みながら進める必要がある。
	思しなから、文通対東はヘナックを始みなから進める必安かめる。
	2.アドバイザーより
	〇 協力隊が行なっているスマホ勉強会など既存の取組みを地域住民に周知すること
	が大事。
	○ 地域飲食店等の連携を図るだけでなく、その先の手段がないといけない。店舗間で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	共同してセット販売を行うなど。
	○ 自転車の活用はいい考えで、自転車だからこそ停まって桜島の魅力を感じることが □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	できる。電動自転車のレンタルがあるのなら、その情報を周知して使ってもらうこと
	が大事。さらに実績を基にデータを分析して二次交通の検討に繋げていくなど、その
	後の展開も検討できる。
	【第4回の地域懇話会について】
	〇 第4回の地域懇話会は来年2月を予定しており、本日の委員の皆様からのご意見等
	を参考に、他地域の計画案も確認のうえ事務局で地域活性化計画案を策定しお示しす
	る。